

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-171	高等学校	情報	情報 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	情 I 050-901	高等学校情報 I		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第 2 条の各号に掲げられた教育の目標に鑑み、情報社会で必要とされる知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を生徒が主体的に身に付けられるように、以下の基本方針のもとに編修した。

- 情報社会についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度を養うことができるよう、情報機器や情報技術はもちろんのこと、社会・経済・文化など多岐にわたる身近な話題を豊富に取り上げる。(第 1 号との関連)
- 「情報 I」の学習内容が実際の職業や生活にどのように関連しているのかについて、大学等での最新の研究成果や実社会での活用例などを豊富に取り上げ、生徒の学習意欲を喚起する。(第 2 号との関連)
- 情報倫理の重要性を踏まえ、情報技術のメリットだけでなくデメリットや留意点など多様な側面を取り上げ、生徒が公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにする。(第 3 号との関連)
- 情報技術や情報システム、シミュレーションやデータ活用の実社会での問題解決の例を豊富に示し、「情報 I」の学びを通して生命や自然を尊重したり環境保全に寄与する態度を養うことができるようにする。(第 4 号との関連)
- 情報技術による文化遺産の保全、情報通信ネットワークによるグローバル化の進展などの例を示し、伝統や文化を尊重する態度、国際社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにする。(第 5 号との関連)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第 1 章 情報社会の問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の概念や重要性、問題解決の考え方を丁寧に取り上げ、情報社会の問題解決についての幅広い知識と教養を身に付けられるようにした。(第 1 号) ○知的財産権や個人情報保護の問題、デジタルデバイドの問題などを取り上げ、個人の価値を尊重するとともに、職業や生活との関連を重視する態度を養うことができるようにした。(第 2 号) ○情報倫理や情報セキュリティへの配慮の重要性を取り上げ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第 3 号) ○章末のコラムでは、AI やアバターなど最新の情報技術だけでなく、写真、香道など「情報」を幅広い視点から捉える文章を掲載し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにした。(第 5 号) 	005-032
第 2 章 コミュニケーションと 情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットコミュニケーションの特徴やメディアリテラシーの重要性を強調し、メディアやデジタル情報の特性について幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度を養えるようにした。(第 1 号) ○デジタルデータの特性を生かして文化遺産のデジタルアーカイブ化が進んでいることなどを紹介し、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるようにした。(第 5 号) ○ユニバーサルデザインやアクセシビリティ、ユーザビリティの重要性を強調し、公共の精神に基づき、情報デザインの考え方をを用いて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第 3 号) ○情報デザインを生かしたコンテンツ制作を通じて、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第 2 号) ○章末のコラムでは情報技術を活用した障害者支援や情報保障の考え方などを紹介し、個人の価値を尊重してその価値を伸ばす態度を養うことができるようにした。(第 2 号) 	033-064

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第3章 コンピュータと プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータやプログラミングについての幅広い知識と教養を身に付け、それらを活用して真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号) ○問題を解決するためのアルゴリズムを考え、その効率性を考えることを通して、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第2号) ○モデル化やシミュレーションによってさまざまな社会課題を解決する試みを紹介し、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) ○章末のコラムでは、ゲーム開発やピアサポートなど多様な話題を取り上げて、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるようにした。(第2号) 	065-100
第4章 情報通信ネットワークと データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ○情報通信ネットワークについての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、データの分析・活用によって真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号) ○情報システムや情報セキュリティへの理解を深めることによって、公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号) ○情報システムを活用したフードロス対策などの話題を取り上げ、情報技術を効果的に活用して環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第4号) ○章末のコラムでは、データを活用したごみ問題解決のアプローチなどを紹介し、情報技術を生かして主体的に社会の形成に参画したり環境の保全に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号・第4号) 	101-130
問題解決の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○身のまわりのさまざまな問題解決に実際に取り組むことで、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、真理を求める態度を養うことができるようにした。(第1号) ○問題解決にグループで取り組むことによって、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすとともに、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにした。(第2号) ○実社会や実生活に関わる題材を扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第2号・第3号) ○修学旅行の行き先決めなど文化的な題材も取り扱い、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うことができるようにした。(第5号) 	131-151

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 巻頭に INTRODUCTION として「情報 I」を学ぶ意義や具体的な学習目標、学習内容の全体像をわかりやすい形で示し、生徒が編修の基本方針や特色を自覚しながら主体的に学べるようにした。
- 第1章～第4章では側注欄等に生徒の興味を喚起する関連するテーマを豊富に示し、また、それぞれの章末にはコラム「生活の中の情報」を設けて、環境保全や伝統文化尊重の態度を含めた幅広い知識と教養を身に付けられるようにした。
- 第1章～第4章のそれぞれの章末に「ワークショップ」を設け、それぞれの章で学んだ内容を生かして生徒が自ら主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにした。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-171	高等学校	情報	情報 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
50 大修館	情 I 050-901	高等学校情報 I		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●全体の構成

- 「情報 I」の目標を効果的に達成できるように、教科書全体を、学習指導要領の(1)～(4)と対応させた第1章～第4章、そこで身に付けた知識及び技能、思考力、判断力、表現力等を生かしてさまざまな問題解決に取り組む「問題解決の実践」、および資料編の三部構成とした。
- 全体を通して見開き単位の構成とし、生徒が学ぶ内容を把握しやすくするとともに、授業でも扱いやすいようにした。
- 教科書全体を有機的に関連付けられるように、随所に相互参照のマークを入れた。

●第1章～第4章

- 第1章～第4章は、それぞれ学習指導要領の(1)～(4)と完全に対応する形の4章構成とした。
- すべての項目の冒頭に「目標」を明示し、末尾には対応する課題「確認」を設けて、生徒が自ら学習のねらいを自覚し、その到達度を評価できるようにした。
- 本文には適宜「例題」「要点のまとめ」を設け、生徒の理解の助けとなるようにした。
- 側注欄には、語注や補足のほか、「キーワード」「memo」「暮らしと情報」などのコーナーを適宜設け、生徒が興味を広げながら主体的に学べるようにした。
- 各章の末尾にコラム「生活の中の情報」を設け、その章での学びが大学や実社会につながることを実感できるようにした。
- 各章の末尾に「ワークショップ」を設け、その章での学びを生かして主体的な話し合いに取り組めるようにした。

●「問題解決の実践」

- 第1章～第4章の後に「問題解決の実践」を置き、各章での学びを生かして実際にさまざまな問題解決に取り組めるようにした。
- 「問題解決の実践」では、レポートやWebサイトの作成、文化祭、修学旅行など、生徒に身近な学校生活や家庭生活からテーマを設定し、生徒が興味をもち、自ら進んで学習に取り組めるようにした。
- すべての項目を問題解決のPDCAサイクルに基づいた構成とし、第1章で学んだ問題解決の考え方を繰り返し実践してその定着を図れるようにした。
- 各項目の末尾には「応用課題」を設け、その項目で学んだ内容をもとにして生徒が自らの問題を発見・解決していく手助けとなるようにした。

●資料編、およびその他の工夫

- 全体の末尾に「資料編」を置き、学習のさまざまな場面で参照できるようにした。
- 全体に、図解・イラスト・写真などを豊富に用いて、生徒の理解の助けとなるようにした。
- 生徒と教員のキャラクターを設け、それらの会話を手がかりにして生徒が自ら考えたり学びを広げたりすることができるようにした。
- 本文にはユニバーサルデザイン書体を使用するとともに、カラー・ユニバーサル・デザインにも配慮した。
- 本文のすべてのページにページ番号を付し、2進数と16進数の表記も併記して、10進数との対応を調べられるようにした。

